

教育部
資料室

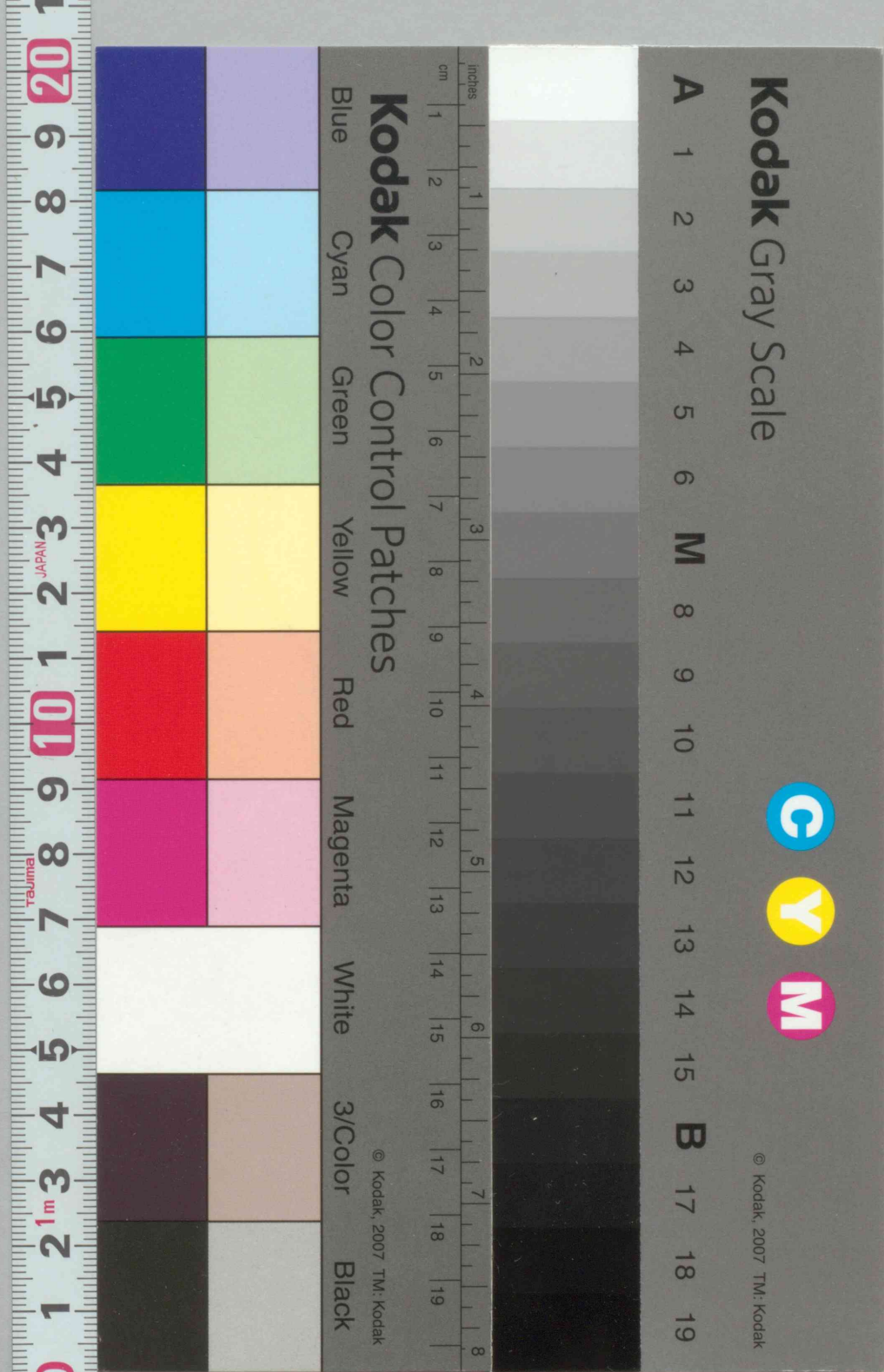
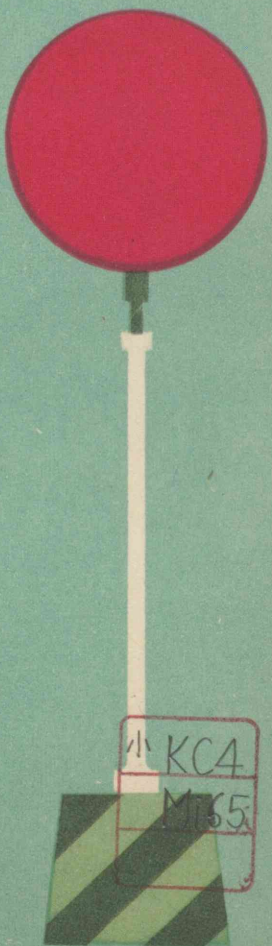
38 小国 225
光村

文部省検定済教科書

教科書文庫
6
720
34-1950
0130449892

石森延男編
金田心象書

かたかた 二年下



Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak

60278

教科書文庫

6
720
34-1950
01304
49892



昭和二十五年八月十二日
文部省検定済
小学校国語科用

中央図書館

一、	えんぴつのもちかた	1
二、	ひょうご	2
三、	うた(一)	4
四、	ことばあそび	5
五、	うた(二)	8
六、	かみしばい	10
七、	このごろ おぼえた かんじ	14
八、	いろはかるた	16
九、	よんだ話	18
十、	うた(三)	20
十一、	きいた話	22
十二、	店屋しらべ	24
十三、	学げい会	26
十四、	てがみ	28
十五、	はがき	30
十六、	ふうとう	32

広島大学図書
0130449892



贈 寄

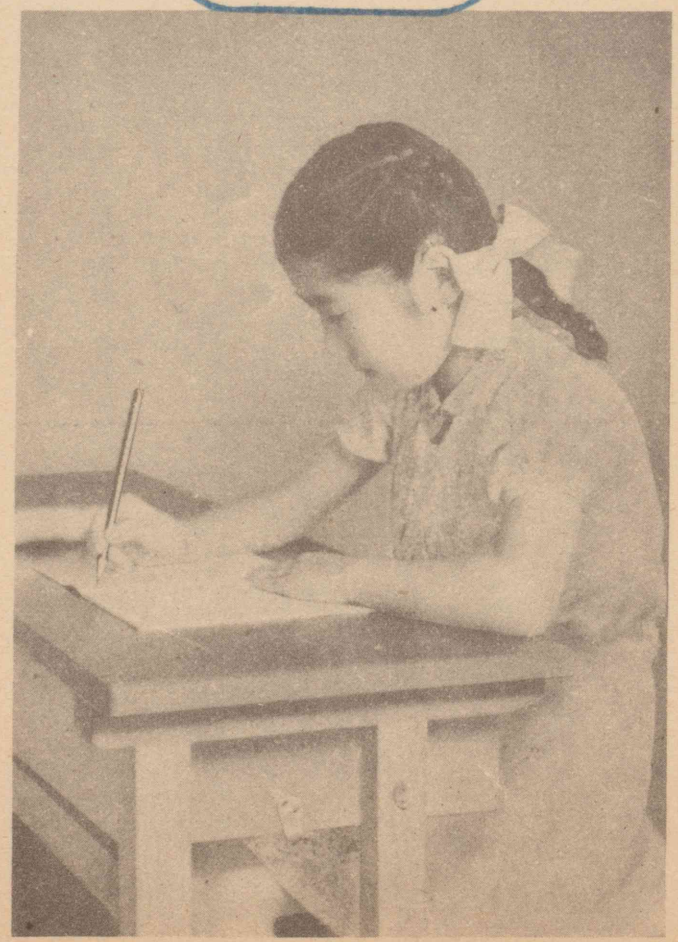
一 えんぴつの もちかた

教科書文庫
6
720
34-1950
0130449892

広島大学図書
0130449892



広島大学
教育学部図書



二 ひょうご (いろいろな ひょうごを 書く けいこ)

図書室の ひょうご

だいに しましう みんなの本

ゆずり あって 読みましよう

読んだら もとにかえましよう

いろいろな ひょうごを あつめましよう

つ	が	が	町				
た。			か				
	ぞ	ず	ど				
い	ろ	す					
つ	ぞ	め	日				
し	ろ	と	ぐ				
よ			れ				
に	通	い					
	っ	っ	青				
い	て	た	い				
っ							
た。	い	人	光				

い	い	が	町				
っ	ぬ		か				
た。	が	ど	ど				
		ま					
あ	一	れ	日				
ぶ	び	と	ぐ				
な	ま		れ				
い		い					
	と	っ	赤				
子	ま	た	い				
い	ら						
ぬ。	ず	子	光				

三
うた(一)
うたを
書く
けいこ

このえんの下のくぎ、ひきぬき、

にくい。 生麦 生米 生たまご。

子ガもガ 二百は、こ米ガ一ぴょう、

子ガもこ米かむ、かも 米かむ。

ラジオと かけて なんと とく。

あきの 花ばたけと とく。

こころは、きくばかり。

みがかぬ かがみ。

た	せ	も	お
か	な	っ	か
い。	か	て	し
	が		を
わ		ね	
た	ほ	ん	し
し	か	ね	っ
の	ほ		か
	か	し	り
作		た。	
文	あ		手
	た		に

つ	し	か	え
け	の	で	つ
て			子
	せ	ね	が
ね	な	ん	
ん	か	ね	わ
ね	に		た
		じ	し
し	か	た。	の
た。	お		
	を	わ	せ
		た	な

五 うた (二二) (うたを ますめに きちんと 書く)

おじいさんが竹をきってみると、おひ
めさまがすわって、いました。あまり美
しいので「かぐやひめ」と名をつけました。
おばあさんもかわいがって、そだてました。

みんなこの美しいかぐやひめを見ようと
して集まってきました。およめにもらい
たいと思う人もいました。けれどもかぐや
ひめはことわってここにいた、と、いました。

ある年の秋、十五夜が近くなるとかぐや
ひめは、しくしくなきました。「わたしは、
月の世界にかえらなければなりません。」
と、いつてなきました。

いよ、いよ十五夜になりました。おじいさんと
おばあさんのひげもどをはなれて、かぐや
ひめは月からのむかえの人につれられて
空高くのぼってしまいました。

く		下		喜		苦	
		げ		ぶ		し	
止		る				む	
ま				行			
る		投		く		楽	
		げ				し	
別		る		来		む	
れ				る			
る		取				悲	
		る		上		し	
会				げ		む	
う		歩		る			

世		安		返		町	
界		全		す			
						糸	
平		弟		生			
和				徒		昼	
		父					
谷				板		用	
		母				意	
家				列			
		季				考	
文				出		え	
字		王		発		る	

七 このごろ おぼえた かんじ (ひつじゅんと) じの かたちを ただしく 書く けいこ

ハ
いろはかるた (たてけいに きれいに 書きこむ)

い
いの
ー
ばん。

ろ
ろ
を
こ
ぐ
せん
どう
さん。

は
春
が
さ
た
ど
こ
に
さ
た。

に
日
本
ー
の
ふ
じ
の
山。

このつぎを つくって みよう

る	に	る。	ふ
	で		る
雪	も	右	
は		に	ふ
	ふ	も	る。
み	る。		
ん		左	さ
な	ふ	に	か
	っ	も	ん
美	て		に
し		ど	
い。	来	こ	ふ

風	い	て	お
が			と
	雪	ま	う
ふ	が	だ	さ
い			ん
て	ふ	か	は
	る	え	
ま	の	ら	町
た	だ	な	へ
よ。	ろ	い。	
	う		い
	か。	寒	っ

十 うた(三) (うたを ますめに 書く)

十二 店屋しらべ (しらべた ことを ますめに 書きこむ)

屋	屋	か	米
		屋	屋
は	本		や
き	屋	お	お
物		か	屋
屋	こ	し	
	ま	屋	
紙	も		魚
屋	の	く	屋
	屋	だ	
薬		も	ぎ
屋	花	の	っ

このほかにありませんか

二年生学げい会プログラム

一 唱歌 (朝の歌)

二 お話 (みにくいあひる)

三 発表 (店屋しらべ)

四 紙しばい (いなばの白うさぎ)

五 作文ろうどく (二年生の思い出)

六 子どもしばい (春の小鳥)

あいさつ

お別れしてから もう 三月にも なって
しまいます。そちらの学校では 今なに
を して いますか。わたしたちは このあ
いだ 学びの会を やりました。ゆかいでした。

お手紙 ありがとうございました。はじめは
なれな、ので こまりましたが、このごろ
では、みんな なかよしになつて 楽し
く 学校に 通つて います。

伏ふし



郵便はがき

京都市伏見町北八丁三
大西新一様

三六
一
東京都千代田区神泉川町
高村正治



郵便はがき

十五

はがき (はがきの
あてなを
はっきりと
書く)

福島けん石川町立が丘
根本やすよ様

北海道札幌市北十東一

太田まさえ

三月十八日

さつぱろ
札幌・おか

本書学習指導の目あてと要領

- 一、手本を見て、これにらせて書く。
 - 二、標語やいろはかるたを作り、たてけいにはっきりと書く。
 - 三、子どもうたをきれいに書きうつす。
 - 四、漢字の書きかたをおぼえる。
 - 五、プログラムの書きかたをおぼえる。
 - 六、聞いた話や読んだ話の題を書きとめておく。
 - 七、紙芝居の文をたてけいにきれいにわかりやすく書く。
 - 八、手紙の文とあて名を正しく書く。
 - 九、えんぴつで書くことに少しずつなれ、姿勢もだんだんできてくる。
- (なお各ページの指導については「かきかた指導書」に詳説してある。)

そうてい 河野鷹思

かきかた 二年下

APPROVED BY MINISTRY OF EDUCATION (DATE SEP. 14, 1950)

昭和二十五年九月十四日 印刷
昭和二十五年九月十八日 発行

著者 石 森 延 男
金 田 心 象

定価 円

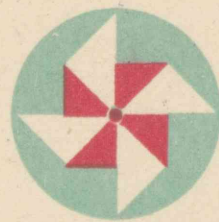
発行者 東京都品川区東大崎一丁目五三二番地
光村図書出版株式会社

代表者 大江 恒 吉

印刷者 東京都品川区東大崎一丁目五三二番地
株式会社 光村原色版印刷所

代表者 光 村 利 之

発行所 東京都品川区東大崎一丁目五三二番地
光村図書出版株式会社



2

下

なまえ

広島大学図書

0130449892



書出版株式会社